

香味に優れる極早生玉露用新品種候補「53- 7」

[要 約]

極早生で香味に優れる玉露用新品種「53- 7」を育成した。萌芽期及び摘採期は「さみどり」に比べ7日早く、樹姿は直立型で樹勢がやや強く株張りが大きい。製茶品質は「さみどり」と同様に良質で、特に香味に優れる特徴を有する。

[キーワード] チャ、極早生、玉露用品種、香味、良質、「53- 7」

[担 当] 京都府立茶業研究所・栽培課

[連絡先] 電話 0774-22-5577、メール ngc-chaken@pref.kyoto.lg.jp

[区 分] 近畿中国四国農業・茶業

[分 類] 技術・普及

[背景・ねらい]

京都府で生産される玉露は、高級な“宇治茶”ブランドの代表格であり、それらは京都府で育成された「ごこう」、「さみどり」などの優良品種の寄与するところが大きい。しかし、これらの品種はいずれも中生種であり、摘採適期の拡大による高品質・安定生産の観点から、早生で良質な玉露用品種の育成が望まれている。

[成果の内容・特徴]

1. 育成経過

「53- 7」は、1975年に採種した「さみどり」の自然交雑種子から選抜した系統である。1979年から系統比較試験、1993年からは現地適応性試験を実施し、栽培形質・品質特性ともに優れているため、2004年に種苗登録申請を行うこととした系統である(写真1)。

2. 特性の概要

- (1) 萌芽期及び摘採期は「さみどり」に比べ7日早い極早生種である(表1)。
- (2) 挿し木発根性及び初期生育は「さみどり」より優れ、均整度も高い(表1)。
- (3) 樹姿は直立型だが「さみどり」に比べ樹勢がやや強く株張りが大きい(表1)。
- (4) 収量構成は「さみどり」に比べ新芽数が多く百芽重がやや軽い芽数型である(表2)。
- (5) 新葉は緑色でやや大きく、葉厚がやや厚い(表2)。
- (6) 成葉は「さみどり」に似て淡緑色で大きさは中、形は長楕円形である(表2)。
- (7) 耐病性は炭疽病に中、輪斑病には強である(表1)。
- (8) 生葉収量及び製茶品質は「さみどり」とほぼ同等で優れる。特に、内質は香気が強く、新鮮味があるなど香味に優れる特徴を有している(表3)。

[成果の活用面・留意点]

1. 本「53-7」は良質な極早生玉露用品種であり、京都府内の玉露生産地域で早期出荷による高値取引が期待できるとともに摘採適期の拡大による労力分散が図れる。
2. 萌芽期が非常に早いので万全な防霜対策が必要である。
3. 弧状仕立て栽培を行う場合は、成園になるとやや葉が小さくなりやすいので適切な整せん枝と肥培管理を行う。

[具体的データ]

表1 系統比較試験における一般栽培特性（茶業研究所：自然仕立て）

品種・系統	早晩性 ¹⁾		挿し木発根性 ²⁾			初期生育・樹姿 ³⁾			樹勢 ⁴⁾	耐病性	
	萌芽期 (月・日)	摘採期 (月・日)	新梢長 (cm)	生育の 良否	均整度	樹高 (cm)	株張り (cm)	株張り 指数		炭疽病	輪斑病
53-7	3.28	5.5	20	4	5	62	44	0.71	3.3	中	強
やぶきた	4.5	5.9	-	-	-	65	49	0.76	3.7	弱	弱
さみどり	4.2	5.12	15	3	5	64	38	0.60	3.0	中	やや弱

1)萌芽期は1989年～1996年までの8年間の平均萌芽日、摘採期は1994年～1997年までの4年間の平均摘採日。

2)挿し木発根性は挿し木当年（1978年）の調査。

生育の良否及び均整度は、1:不良 2:やや不良 3:中 4:やや良 5:良として区分した。

3)初期生育・樹姿は定植2年目（1980年）秋季における調査。

4)樹勢は1989年～1996年までの8年間の生育の良否（1:不良 2:やや不良 3:中 4:やや良 5:良）の平均値。

表2 系統比較試験における摘芽・新葉形質及び成葉形質（茶業研究所：自然仕立て・本ず被覆・手摘み）

品種・系統	摘芽形質 ¹⁾				新葉形質				成葉形質			
	新芽数 (本)	新芽長 (cm)	莖径 (mm)	百芽重 (g)	形	大きさ	厚さ	色	形	大きさ	厚さ	色
53-7	235	5.7	1.84	52	長楕円	やや大	やや厚	緑	長楕円	中	やや厚	淡緑
やぶきた	226	6.8	2.05	63	長楕円	大	中	濃緑	長楕円	大	中	緑
さみどり	210	6.1	2.13	54	やや楕円	中	中	淡緑	長楕円	中	中	淡緑

1)摘芽形質は1990年～1992年までの3年間の平均値。新芽数は番刈り面900cm当たりの枝条に着生する全芽数。

表3 現地適応性試験における一番茶取量及び製茶品質

試験地 (仕立て・被覆・摘採方法)	品種・系統	生葉取量 ¹⁾ (kg/10a)	官能審査評点（玉露） ²⁾							備考 ³⁾
			形状	色沢	香気	水色	滋味	合計		
久世郡久御山町 (自然仕立て 黒色化学繊維被覆 手摘み)	53-7	686	19.0	19.0	19.2	19.3	19.2	95.7	浅色、新鮮香、香気強い	
	さみどり	626	20.0	19.8	19.5	19.5	19.6	98.4		
綴喜郡宇治田原町 (弧状仕立て 黒色化学繊維被覆 はさみ摘み)	53-7	320	18.3	19.0	19.3	18.8	18.5	93.9	浅色	
	さみどり	274	19.3	18.8	19.3	19.5	18.5	95.4		

1) 2)久御山町が1998年～2002年（定植4～8年目）、宇治田原町は2000年～2001年（定植6～7年目、やや早摘み）の平均値。

2)官能審査は各項目ごとに最良のものを20点満点とする相対評価とした。

3)備考欄は各品種、系統に特徴的に出現した審査摘要。

[その他]

研究課題名 : 新品種育成に関する試験 系統比較第7群
予算区分 : 府単
研究期間 : 2002年度(1975年～2002年)
研究担当者 : 荻 安彦、神田真帆、大串卓史、上辻久利
発表論文等 : 種苗法による品種登録予定



写真1 一番茶新芽生育期の「53-7」